



立真会

質問者

さかもとみあき
坂本公明議員

所属議員

はらだ
原田てつよ議員
みたに
三谷 渡議員



地に足の着いた市政運営を望む

議員 市長就任前と今の思いについてたずねる。

市長 私は笠岡市のこれまでの歴史の中で、初めて純粹な民間出身の市長として就任した。市役所の

古い慣習にとらわれることなく、

民間時代のグローバルな仕事や会社経営で培った経験やノウハウを

市政運営に積極的に取り入れ、時代の流れにしつかりと対応した市政運営に努める所存であり、市長就任前の考え方と変わることはない。

議員 市長の役割をどのように認識され、今後どのような信条で市政を運営されようと考えているか。

市長 市長は市民が安全・安心で心豊かに暮らせる持続可能な社会へと進むべき方向性を示し続ける

羅針盤のような役割を持っていると認識している。このため、長期的な視野に立ち、公正、公平かつ誠実に市政運営に努めていかなければならぬものと考えている。

議員 市長に求められる要件は、

市長 市長の職務は責任が重く、その考え方によって行政の方向性は大きく変わるので、組織の長として、明確な将来への展望を持ち、進むべき方向性を示し続ける羅針盤として、市政のかじ取り役として、しつかりとリーダーシップを発揮することが重要と考えている。

市長 管路全体の更新率は平成27年度末で31%、27年度一年間の更新率は0・5%で全国平均は0・8、県内平均は0・9%である。耐用年数を超えた管路の割合は18%である。また、①年次的な更新計画は来年度に作成予定②現段階での総投資額は約四百十一億円③財源は更新計画を策定する中で検討④人口減により水道の使用水量が減

多数の配水池とポンプ施設が必要である点で他市と大きく異なるが、これらの維持費、の5点についてたずねる。

議員 水道管の耐用年数はおよそ40年と聞くが管路の更新率はどの位か。また、①更新計画の進捗状況②更新費用の見積もり③財源の確保④人口減少が進む中での水道事業との関係⑤笠岡は地形の隆起が非常に激しく、高所も多いので

水池が42、加圧ポンプが35ヶ所あり、維持費は人件費等含めて年間約一億2千2百万円である。なお、施設数は浅口市が配水池13、ポンプ室14、井原市は配水池33、ポンプ室20である。

安定した水道事業の今後の運営を望む

議員 今後、二次災害が予見されるが万全の態勢ができるのか。林地崩壊防止事業などの地元負担は軽減できないか。

六月災害の被災箇所の対応は

市長 二次災害については見回り点検などで対応したい。古江地区は来年度にかけ工事を行う。外浦は国の砂防事業採択に向け準備中である。森林土木事業は、災害を未然に防止するため、受益者負担の適正な負担率を検討したい。



笠栄会

質問者

おくのやすひさ
奥野泰久議員

所属議員

やまもとしあき
山本俊明議員
せのおひろゆき
妹尾博之議員

